

令和元年度  
大村市教育委員会  
点検・評価報告書  
(平成30年度事業分)

令和2年3月  
大村市教育委員会

## 目 次

	ページ
はじめに	1
学識経験者の所見	2～3
第1 教育委員会の活動及び管理執行事務	
1 教育委員会及び教育委員の活動	4
(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信	
(2) 教育委員会と事務局との連携	
(3) 教育委員会と市長との連携	
(4) 教育機関等との連携	
(5) 教育委員の自己研鑽	
2 教育委員会が管理又は執行する事務	5
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定	
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止の決定	
(3) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他進退についての内申	
(4) 教育長、教育政策監、教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び中学校を除く）の長の任免	
(5) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価	
(6) 教育委員会規則及び規程の制定又は改廃	
(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に係る意見の申出	
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱	
(9) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定及び変更の決定	
(10) 教科用図書の採択に関する事	
第2 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	
基本目標1：人を育むまち	
〈子育てしやすいまちづくり〉	
1 子育てを支える環境の充実	6
(1) 巡回補導事業	
2 子育てと支援の両立	6
(1) 放課後子ども教室推進事業	
〈豊かな学力と生きる力を育む教育の充実〉	
3 幼児教育の充実	6
(1) 私立幼稚園就園奨励費補助金	
(2) 幼稚園運営事業	

4 小・中学校教育の充実 . . . . . 7～10

- (1) 小・中学校管理事業
- (2) 小・中学校教育用コンピュータ活用事業
- (3) 小・中学校教育用ＩＣＴ機器活用事業
- (4) 小・中学校災害共済給付事業
- (5) 小・中学校教材等整備事業
- (6) 小・中学校就学援助事業
- (7) 子ども読書活動推進事業
- (8) 特別支援教育推進事業
- (9) 英語力向上対策事業
- (10) 学校経営研究事業
- (11) 教員補助員派遣事業
- (12) 教職員研修事業
- (13) 就学教育相談事業
- (14) 就学时健康診断事業
- (15) 小・中学校健康管理支援事業
- (16) 小学校体育大会開催事業
- (17) 小中学生文化振興事業
- (18) 中学校体育大会開催事業（市中総体）
- (19) 中学校体育大会開催事業（県中総体）
- (20) 保健推進事業
- (21) 小中連携・一貫教育事業

5 教育環境の充実 . . . . . 10～12

- (1) 小・中学校遠距離通学対策事業
- (2) 大村市心の教室相談員配置事業
- (3) 心のケア充実対策事業
- (4) 学校適応指導教室運営事業
- (5) 遠隔地間協働学習実証研究事業
- (6) 小・中学校校舎等整備事業
- (7) 小・中学校施設環境改善事業
- (8) 奨学金事業
- (9) 学校給食管理事業
- (10) 学校給食助成事業
- (11) 中学校給食センター建設事業

〈文化の振興と生涯学習の充実〉

- 6 文化財の保護・活用・継承 . . . . . 13～14
- (1) 郷土を誇りに思う子ども育成事業
  - (2) 文化財管理事業
  - (3) 市内遺跡発掘調査事業
  - (4) 三城城跡保存整備事業
  - (5) 民俗芸能保存事業
  - (6) 旧楠本正隆屋敷管理運営事業
  - (7) 史料館管理運営事業
  - (8) 大村市歴史資料館(仮称)整備事業
- 7 芸術・文化の振興 . . . . . 15
- (1) 文化活動振興事業
  - (2) 市民ギャラリー運営費補助金
  - (3) 子ども芸術文化活動事業
  - (4) 音楽があふれるまちづくり事業
  - (5) 心と郷土愛を育むミュージカル鑑賞事業
  - (6) 体育文化センター設備改修事業
- 8 生涯学習の充実 . . . . . 16～17
- (1) 成人式開催事業
  - (2) 公民館管理運営事業
  - (3) 公民館講座開催事業
  - (4) 西大村地区公民館管理運営事業
  - (5) 子ども科学館運営管理事業
  - (6) 視聴覚ライブラリー管理運営事業
  - (7) 地区住民センター活動支援事業
  - (8) 生涯学習推進事業
  - (9) 新中地区公民館(仮称)建設事業
- 9 青少年の健全育成 . . . . . 18
- (1) 健全育成協議会支援事業
  - (2) 子ども会育成事業
  - (3) 巡回補導事業
  - (4) 少年センター管理運営事業

10 図書館の充実と整備	19
(1) 図書館管理運営事業	
(2) 図書等整備事業	
(3) 新「大村市立図書館」建設事業	
(4) 新「大村市立図書館」準備事業	
(5) 新「大村市立図書館」情報システム整備事業	
(6) ミライオン施設等維持管理事業	

基本目標2：健康でいきいき暮らせるまち  
 〈健康づくりの推進と医療体制の充実〉

11 スポーツの振興	20
(1) 体育文化センター運営管理事業	

基本目標3：持続可能な行財政運営と市民協働の推進  
 〈効率的で開かれた行政運営の推進〉

12 効率的な行政運営の推進	21
(1) 公共施設予約システム管理事業	

〈地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり〉

13 地域コミュニティの活性化	21
(1) 大村市公民館連絡協議会補助金	
(2) 町内公民館建設費補助金	

14 市民活動の支援と協働の推進	21
(1) 市民憲章推進事業	

〈お互いを尊重し、誰もが活躍できる社会づくり〉

15 人権に関する教育と相談体制の充実	21
(1) 人権教育推進事業	



## はじめに

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付してその結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

## 所 見

大村市教育委員会の平成30年度事業分点検・評価報告書について概要説明を受け、ヒアリングを行ったので、その所見を述べさせていただきます。

(評価できる点)

- 1 小・中学校教育用コンピュータ活用事業及び小・中学校教育用ICT機器活用事業については、情報化が進展している現代社会においては主体的に対応できる力を養うことができるため、有効性が高い。また、ICT機器の導入により、教員の負担も軽減されており、評価できる。
- 2 小・中学校教材等整備事業においては、教科学習における教材整備は、学習理解を助け、確かな学力を身に付けさせるために不可欠である。特に理科設備の整備率が、徐々にではあるが向上しており、評価できる。
- 3 子ども読書活動推進事業については、市内全小・中学校に学校司書を配置することで、図書の整備及び図書室の運営が円滑になされており、目標達成率も100%を超え、子ども達の読書に対する姿勢も向上していることがわかり、評価できる。
- 4 英語力向上対策事業については、小・中学校に13名のALTを配置し、外国語によるコミュニケーション力の向上が図られている。また、インターナショナルデイやイングリッシュデイ等のイベント実施により、児童生徒が学校外でも外国語に接する機会が充実してきている。
- 5 教員補助員派遣事業については、個に応じた学習が重視される中で、児童生徒一人ひとりに行き届いた支援がなされ、より効果的な学習ができています。今後、さらに補助員の数を増員する方向で進められていることで、児童生徒の学力向上も期待できる。
- 6 小・中学生文化振興事業については、児童生徒の情操教育を育み、豊かな心を育成していくうえで重要な取組である。美術作品展や音楽会へ参加することにより、情操教育の向上につながっており、評価できる。
- 7 中学校体育大会開催事業については、生徒の体育の振興、運動部活動の活性化につながっており、その結果、県下においても好成績を収めるなど、評価できる。
- 8 心の教室相談員配置事業や心のケア充実対策事業では、相談員やSSWの配置など、教育相談体制も充実している。また、近年増加傾向にある不登校対策においても、学校適応指導教室運営事業による「あおば教室」などで手厚く対応しており、評価できる。



- 9 小・中学校施設環境改善事業では、近年の猛暑等により、学校環境の改善が求められている中で、エアコン機器の設置により、快適な学習環境が整備され、学習効果の向上につながることを期待できる。
- 10 子ども芸術文化活動事業、音楽があふれるまちづくり事業及び心と郷土愛を育むミュージカル鑑賞事業においては、児童生徒の情操教育学習に大きな影響力をもち、将来に生きる力を育む糧となる事業である。また、小・中学校における音楽教育の発展につながる取組であるため、今後も推進していただきたい。
- 11 成人式開催事業については、開催日の関係で県外在住の新成人の参加が昨年度と比較して多少減少したものと推測されるが、新成人及び次期成人者を中心に、企画運営委員会を組織し、中学校時代に学んだ曲を全員で合唱するなど、創意工夫のある成人式を企画しており、大変評価できる。
- 12 図書館管理運営事業及び図書等整備事業については、ミライオン図書館の開館を踏まえ、魅力ある図書館の運営等に大いなる期待を持てる。

(改善を要する点)

- 1 小学校における教科指導において、外国語など新たな教科指導が必要になっており、また一方では「働き方改革」による教職員の負担軽減が言われている中で、小学校の高学年（5年生・6年生）による交流授業や専科による授業などの改善をすることにより、教職員の資質の向上を図る時間的余裕を持つことで、より深い教材研究ができるようにしてほしい。

(今後要望する点)

- 1 小・中学校における教育活動において、「調べ学習」の授業や総合的学習などで、ミライオンを積極的に活用していくような取組を実践していただきたい。
- 2 有意義な文化活動が計画されている中で、その発表する場所として舞台装置等が整った公共のホールは、シーハットおおむらの「さくらホール」があるが、旧市民会館のような収容人数が多い公共のホールを早急に整備していただきたい。

令和2年 2月18日

尾崎 嘉生

---

野田 和宏

---

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

項目		点検・評価のコメント
		活動内容等
(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信	ア 会議の開催回数	<p>毎月1回の定例会及び必要に応じ臨時会を開催し、審議が必要な事項は漏れなく行われている。</p> <p>定例会12回、臨時会3回開催した。</p>
	イ 議事録の公開、広報、公聴活動の状況	<p>定例教育委員会の会議の開催日時・場所等を市のホームページや広報紙に掲載するとともに、議事録についても市のホームページへ掲載し、積極的な情報発信を行っている。</p> <p>平成30年度における傍聴者2人</p>
(2) 教育委員会と事務局との連携		<p>必要な情報提供や議案等の会議資料は事前送付を行うように努めており、教育委員と事務局の連携は図れている。</p> <p>議案を事前に送付することで、十分な審議ができるよう努めている。また、議案以外の事項についても委員と協議を行い業務を遂行している。</p>
(3) 教育委員会と市長との連携		<p>教育長は事務局の長として常日頃から市長・副市長との連携を図っている。</p> <p>教育委員と市長との総合教育会議を4回実施した。</p>
(4) 教育機関等との連携	ア 学校への訪問	<p>研究発表会、運動会、卒業式等、各小中学校ごとの行事へ積極的に参加している。</p> <p>学校訪問回数 45回</p>
	イ その他施設への訪問、行事参加等	<p>学校以外の施設への訪問、行事参加を行った。</p> <p>その他教育功労表彰・成人式等行事参加 53回</p>
(5) 教育委員の自己研鑽		<p>市町村教育委員会研究大会や研修会に出席し、教育委員の資質向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎縣市町村教育委員会連絡協議会研修会（大村市）3人</li> <li>・新任教育委員研修会（大村市）1人</li> <li>・長崎縣市町村教育委員会研究大会（大村市）3人</li> <li>・市町村教育委員研究協議会（大阪市）3人</li> </ul>

第2 教育委員会が管理又は執行する事務

項目	点検・評価のコメント
	活動内容等
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定	大村市教育振興基本計画に基づき、大村市の教育方針及び重点目標を決定している。
	大村市教育方針及び努力目標の決定（平成30年3月定例会）
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止の決定	幼稚園の廃園 1件
(3) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他進退についての内申	任免その他進退に係る内申については、臨時会において審議し決定した。
	教職員の人事内申に係る決定（2月臨時会）
(4) 教育長、教育政策監、教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び中学校を除く）の長の任免	任免その他進退については、定例会において審議し決定した。
	事務局職員の人事に係る決定（3月定例会）
(5) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年3月 市議会へ報告</li> <li>・平成31年3月 報告書を市ホームページに掲載</li> </ul>
(6) 教育委員会規則及び規程の制定又は改廃	必要な規則改正等については、漏れなく審議している。
	規則の制定改正 6件
(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に係る意見の申出	必要な案件は漏れなく審議している。
	条例 5件、予算（当初） 1件、予算（補正） 3件 契約 3件、財産の処分 1件 計 13件
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱	各種委員会の委員の任命又は委嘱については、定例会において審議し決定した。
	委員の委嘱の議案 4件
(9) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定及び変更の決定	該当事例なし
(10) 教科用図書の採択に関すること	無償措置法第13条に基づき平成31年度使用中学校用教科書の選択事務を実施した。

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント																										
			活動内容等																										
子育てしやすいまちづくり	子育てを支える環境の充実	(1)巡回補導事業  【社会教育課】	<p>青少年の非行防止のため、愛の声かけを中心とした補導活動を実施している。 また、市内の中学校・高校・駅前駐輪場において、毎月、自転車の施錠調査を実施し、二重ロックの推進を図っている。</p> <p>14地区で毎月2回の定期補導を行い、夏越祭りや地区の祭り開催時には特別補導を実施した。また、新任研修会を1回、全員研修会を2回行い、資質向上に努めた。</p> <p>〈H30実績〉 補導活動 延べ 1,653人 各種研修会 延べ 170人</p>																										
	子育てと支援の両立	(1)放課後子ども教室推進事業  【社会教育課】	<p>放課後や週末等の子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、小学校の余裕教室や野外教室等を活用して、宿題、読書、昔遊び、野外体験活動等の取組を実施した。</p> <p>〈H30実績〉</p> <table border="0"> <tr> <td>三浦野性の森放課後子ども教室</td> <td>開催24日</td> <td>登録者51人</td> </tr> <tr> <td>中央小放課後子ども教室</td> <td>開催31日</td> <td>登録者33人</td> </tr> <tr> <td>鈴田小放課後子ども教室</td> <td>開催30日</td> <td>登録者12人</td> </tr> <tr> <td>松原宿寺子屋塾放課後子ども教室</td> <td>開催5日</td> <td>登録者81人</td> </tr> <tr> <td>三浦小放課後子ども教室</td> <td>開催29日</td> <td>登録者26人</td> </tr> <tr> <td>黒木小放課後子ども教室</td> <td>開催25日</td> <td>登録者22人</td> </tr> <tr> <td>竹松小放課後子ども教室</td> <td>開催29日</td> <td>登録者30人</td> </tr> <tr> <td>松原小英会話放課後子ども教室</td> <td>開催44日</td> <td>登録者65人</td> </tr> <tr> <td>英語学習放課後子ども教室</td> <td>開催8日</td> <td>登録者32人</td> </tr> </table>	三浦野性の森放課後子ども教室	開催24日	登録者51人	中央小放課後子ども教室	開催31日	登録者33人	鈴田小放課後子ども教室	開催30日	登録者12人	松原宿寺子屋塾放課後子ども教室	開催5日	登録者81人	三浦小放課後子ども教室	開催29日	登録者26人	黒木小放課後子ども教室	開催25日	登録者22人	竹松小放課後子ども教室	開催29日	登録者30人	松原小英会話放課後子ども教室	開催44日	登録者65人	英語学習放課後子ども教室	開催8日
三浦野性の森放課後子ども教室	開催24日	登録者51人																											
中央小放課後子ども教室	開催31日	登録者33人																											
鈴田小放課後子ども教室	開催30日	登録者12人																											
松原宿寺子屋塾放課後子ども教室	開催5日	登録者81人																											
三浦小放課後子ども教室	開催29日	登録者26人																											
黒木小放課後子ども教室	開催25日	登録者22人																											
竹松小放課後子ども教室	開催29日	登録者30人																											
松原小英会話放課後子ども教室	開催44日	登録者65人																											
英語学習放課後子ども教室	開催8日	登録者32人																											
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	幼児教育の充実	(1)私立幼稚園就園奨励費補助金  【こども政策課】	<p>私立幼稚園保護者の負担軽減のために就園奨励費補助金を交付しており、子育て支援の対策としては効果が大きいものとなっている。また、平成28年度から一部階層区分でひとり親世帯等が追加され、同階層での補助限度額を拡大し、より一層保護者の負担軽減に努めている。</p> <p>平成30年度補助金対象者 532人 (該当者459人)</p>																										
		(2)幼稚園運営事業  【こども政策課】	<p>公立幼稚園施設の維持管理や保育事業の実施など、適正な幼稚園の運営を行っている。</p> <p>・幼稚園園舎等整備 維持補修件数 12件 ・幼稚園運営事業費 16,897,254円</p>																										

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント	
			活動内容等	
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(1)小・中学校管理事業	学校の施設設備の維持管理のため、各学校へ予算を配当している。各学校へ配当された予算は、学校の経常的な維持管理を行う経費であり、良好な教育環境を継続的に提供していくため有効に執行されており、適正な学校の運営管理を行っている。	
		【学校教育課】	・小学校管理事業費 ・中学校管理事業費	94,458,700円 55,899,107円
		(2)小・中学校教育用コンピュータ活用事業	情報化が進展している現代社会において、コンピュータを介して「情報」に主体的に対応できる力を養えるため有効性は高い。	
		【学校教育課】	・小学校 ・中学校	37,297,488円 17,605,272円
		(3)小・中学校教育用ICT機器活用事業	学力向上につながる授業改善を進める方策として、各学校におけるICT機器を活用した授業の実践は不可欠である。モデル校と同様のICT環境を他校へ整備することによって、市全体の授業改善の推進や学力向上が期待できる。	
		【学校教育課】	・小学校 ・中学校	6,967,088円 2,021,964円
		(4)小・中学校災害共済給付事業	独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付金制度に加入し、学校管理下で起こった児童生徒のけが等の治療にかかわる保護者の負担を軽減している。	
【学校教育課】	・給付件数（小学校 539件：中学校 237件） ・給付金額（小学校6,637,568円：中学校3,709,889円）			
(5)小・中学校教材等整備事業	教科学習における教材整備は、基礎・基本的な学習理解を助け、確かな学習能力を身に付けさせるうえで重要であり、その充実は不可欠である。			
【学校教育課】	・学校図書蔵書率（小学校 88.2%：中学校 107.1%） ・理科設備整備率（小学校 78.6%：中学校 82.7%）			
(6)小・中学校就学援助事業	「教育の機会均等」の観点から、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費・給食費等必要な援助を行い、保護者の負担を軽減することで、教育の機会均等を図っている。			
【学校教育課】	平成30年度 認定件数（準要保護＋要保護） 小学校 859人 中学校 482人			
(7)子ども読書活動推進事業	学校司書が配置されたことにより、子どもの読書冊数が大幅に増加し、読書活動の推進が図られた。また、学校図書館ネットワークシステムの活用により、利用しやすい図書館づくりができています。			
【学校教育課】	学校司書を配置し、蔵書整備や学習センターとしての機能の充実等、本と子どもをつなぐ取組を実施する。また、学校図書館ネットワークシステムを活用し、利用しやすい図書館づくりを行う。 ・図書貸出実績 588,288冊（平成30年度末） ・目標達成率 108.0%			

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(8)特別支援教育推進事業	<p>特別支援教育に携わる教員の指導力を向上させるとともに、配慮を要する児童生徒の活躍の場を保障する有効な機会となっている。</p> <p>特別支援学級設置校における教育活動を支援するとともに、市内特別支援学級設置校間での合同作品展、合同交流会、合同運動会を実施する。</p> <p>・チャレンジド3行事参加者数 1,654人 ・目標達成率 133%</p>
		【学校教育課】	
		(9)英語力向上対策事業	<p>小中学校の授業でALT（外国語指導助手）を活用することにより、外国人と接する学習場面を設定できるとともに、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験したり、言語活動や文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>また、インターナショナルデイやイングリッシュデイ、放課後子ども教室等を通じてネイティブの英語に接する機会を増やす。</p> <p>13人のALTを全小・中学校へ配置し、英会話による授業や英語活動を行った。</p> <p>市内公立幼稚園を訪問し、早期に英語や異文化に触れる機会をつくった。</p> <p>小学生対象のインターナショナルデイ、中学生対象のイングリッシュデイを夏休みに実施した。</p>
		【学校教育課】	
		(10)学校経営研究事業	<p>事業の継続により、各校においては有効に予算が活用され、特色ある教育活動が展開されている。</p> <p>学級経営・指定研究・総合学習・特別活動の4分野について、学校の実状に合わせた特色ある学校経営を推進する。</p>
		【学校教育課】	
		(11)教員補助員派遣事業	<p>配慮を要する児童生徒一人ひとりへの対応が可能となるとともに、学級集団が授業へ集中する時間を確保することができ、学級全体の学力向上を図る上で効果がある。</p> <p>支援を要する児童生徒の在籍する学校に補助員を配置する。</p> <p>・各種補助員等 42人配置（平成30年度）</p>
【学校教育課】			
(12)教職員研修事業	<p>研修会の開催が教職員全体の意識の高揚につながっており、その資質向上に大いに寄与している。</p> <p>小学校教育研究会・中学校教育研究会・校長会・教頭会に対し、研修の助成を行う。</p> <p>・校長会、教頭会、教諭等研修会数 30回</p>		
【学校教育課】			
(13)就学教育相談事業	<p>就学相談事業の充実により、児童の適正な就学が図られている。</p> <p>就学児童の障害の種類や程度について実態を把握するとともに、保護者の悩みや不安、要望等について就学相談を行う。</p> <p>・教育相談回数 281回</p>		
【学校教育課】			

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(14)就学時健康診断事業  【学校教育課】	要配慮児童の早期把握や入学後の児童の健康管理等において貴重な資料となっている。  就学予定児童の心身の状況を把握する就学時健康診断を行う。 ・受診者数 1,024人 ・受診率 99.8%
		(15)小・中学校健康管理支援事業  【学校教育課】	学校教育法及び学校保健安全法に基づき実施している。  市内小学校児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るために健康診断を実施する。 (小学校)健康診断受診者数 9,221人 ・受診率 100% (中学校)健康診断受診者数 4,811人 ・受診率 100%
		(16)小学校体育大会開催事業  【学校教育課】	小学校児童の体育の振興や他校児童との交流等の成果をあげている。  市内小学生の体育の充実・発展及び心身の健全な発達等を図るため、体育祭および水泳大会を実施する。 ・体育大会参加者数 2,072人 ・水泳大会参加者数 260人
		(17)小中学生文化振興事業  【学校教育課】	児童生徒が、お互いの合唱や演奏を鑑賞したり、絵画や版画及び工芸等の作品にふれたりすることは、情操を培うことにつながり、豊かな心を育成していくうえで非常に大切である。  市内音楽会、図工美術作品展の開催を実施する。 ・小、中音楽会への参加者数 2,175人 ・図工、美術作品展への参加者数 約2,000人
		(18)中学校体育大会開催事業(市中総体)  【学校教育課】	中学校生徒の体育の振興、体力向上等の成果をあげている。  市内中学生の体育や部活動の充実・発展及び心身の健全な発達等を図るため、各種体育大会(中学校総合体育大会・駅伝大会・新人大会)を開催する。 ・運動部入部者数 2,100人
		(19)中学校体育大会開催事業(県中総体)  【学校教育課】	県中学校総合体育大会に市の代表として参加することにより、生徒の運動部活動の充実・発展や競技力向上につながっている。  県中学校総合体育大会に市内大会を経て代表となった選手の輸送費、練習費を助成する。 ・県大会出場者数 486人

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(20)保健推進事業  【学校教育課】	各部会ごとの研修や実践発表等により、学校保健活動の充実が図られた。  学校保健活動の充実を図るため、大村市学校保健会に活動費を助成する。 ・保健推進部会 7回 ・参加率 100%
		(21)小中連携・一貫教育事業  【学校教育課】	幼保小・小中連携に係る取組事例の広報や大村市学期制準備委員会等を開催し、総合的に連携事業を推進している。  平成30年度 ・幼保小・小中連携教育・一貫教育取組事例集の発行 ・小中連携活動費による6中学校区の連携推進 ・笑育…大村中校区3小学校で開催 年2回開催 ・あすチャレ!スクール…西大村中校区2小学校、1中学校 年1回開催 ・大村市学期制準備委員会…年6回開催
	教育環境の充実	(1)小・中学校遠距離通学対策事業  【学校教育課】	遠距離通学児童生徒の保護者の負担軽減を図るとともに安心安全な通学を確保している。また、市単独事業として小学校は3km以上4km未満、中学校は5km以上6km未満の児童生徒についても通学費の75%を補助している。  平成30年度 ・小学校 122人 100%補助 72人 75%補助 50人 ※100%補助に黒木小特別転入学児童7人含む。 ・中学校 87人 100%補助 76人 75%補助 11人
		(2)大村市心の教室相談員配置事業  【学校教育課】	不登校対策を一層推進していくためにはその予防に努めることが何よりも重要であり、その意味で非常に必要性が高い事業である。  心に悩みを抱える児童生徒の気軽な相談相手として「心の教室相談員」を全中学校と小学校13校に配置し、児童生徒の心の安定を図る。
		(3)心のケア充実対策事業  【学校教育課】	不登校対策をはじめ、複雑・多様化する生徒指導上の問題、課題を抱える保護者への対応など、スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）の存在は、大村市の教育相談体制に欠かせないものである。  スクール・ソーシャル・ワーカーを教育委員会に配置し、児童生徒・保護者・教職員の相談等にあたる。
		(4)学校適応指導教室運営事業  【学校教育課】	あおば教室は、不登校児童生徒の心的ケア及び学習を保障する場であり、学校復帰への大きなステップになっている。  教室長、指導主事、教育相談員、補助指導員等による集団活動や学習指導をとおして、学校や集団活動に適応できる規則正しい生活や社会性を育成する。



【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	教育環境の充実	(5)遠隔地間協働学習実証研究事業  【学校教育課】	人口過少地域の小規模学校間において、小規模学校のデメリットを最小化するため、テレビ会議システムなどのICTを活用することは非常に重要である。  ・テレビ会議システム構築 ・ICT支援員配置 ・教師用、児童用タブレット配付 ・校内無線LAN整備 ・デジタルテレビ、デジタル教科書整備
		(6)小・中学校校舎等整備事業  【教育総務課】	学校設備の延命化及び教育環境の維持管理のためには日常の点検・補修及び定期的な維持補修が必要であり、緊急的な補修及び学校現場からの要望に対し必要に応じて施設の維持補修を行った。  維持補修件数 小学校 82件、中学校 32件
		(7)小・中学校施設環境改善事業  【教育総務課】	児童生徒が快適に学べるよう、学校施設の環境改善のための整備を促進している。  ・大村小学校を肢体不自由児支援拠点施設に位置付け、昇降機を設置するため、実施設計を行った。 ・トイレ洋式化を推進するため、実施設計を行った。 ・普通教室及び一部の特別教室にエアコンを設置し、快適な学習環境を整備するため、実施設計を行った。 ・中学校普通教室へのエアコン設置工事を行った。
		(8)奨学金事業  【教育総務課】	教育の機会均等化と、有為な人材を育成して教育の振興に寄与することを目的として奨学金の貸与及び給付を行った。  平成30年度 ・貸与者数 高校等 10人 大学等 17人 ・給付者数 大学 1人

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	教育環境の充実	(9)学校給食管理事業	<p>学校給食を通して、児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持増進や正しい食習慣の習得、食生活の理解に努めている。                      高度な衛生基準に基づく最新の設備により、安全・安心な給食を毎日提供し、残食率も低い。                      食物アレルギー対応については、大村市アレルギー対応マニュアルに基づき実施されている。また、定期的アレルギー対応委員会を開催し、手順等の検証を行うことで、より一層安全・安心な運用が図られている。</p> <p>市内の中学校・小学校・市立幼稚園に給食を提供。                      中学校（6校）                      ・給食実施日数 184日/年                      ・食数 3,109食/日                      ・鶏卵アレルギー対応の代替食・除去食の提供 5人</p> <p>小学校（15校）                      ・給食実施日数 195日/年                      ・食数 6,645食/日                      ・鶏卵アレルギー対応の代替食・除去食の提供 19人</p> <p>市立幼稚園（3園）                      ・給食実施日数 164日/年                      ・食数 120食/日</p> <p>平成30年8月に西大村中学校、郡中学校、大村中学校、桜が原中学校において給食を開始したことにより、全中学校における完全給食を実現した。                      【教育総務課】</p>
		(10)学校給食助成事業	<p>学校給食会は、安全・安心な良質の食材を適正価格で購入し、必要な量を安定的に調理場へ提供している。これにより、適正な給食費で良質の給食が提供されており、食材に起因する事故も発生していない。</p> <p>学校給食を円滑に実施するため学校給食会を設置し、良質で安価な給食物資を調達している。この給食会の人件費等の運営費として学校給食会補助金を交付している。                      ・学校給食会補助金 10,297,438円                      【教育総務課】</p>
		(11)中学校給食センター建設事業	<p>成長期にある中学生に栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供するとともに、食事に関する正しい知識や望ましい食習慣を養うなどの食育推進を目的に中学校給食センターを建設し、完全給食を実施する。</p> <p>中学校給食センターが平成30年6月に竣工し、8月29日に供用を開始した。                      【教育総務課】</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	文化財の保護・活用・継承	(1)郷土を誇りに思う子ども育成事業        【文化振興課】	<p>学芸員が、郷土史クラブ参加小中学校に3回程度学校を訪問し、研究活動を手伝った。夏休みには全体で史跡や博物館のバスツアーを行った。</p> <p>小中学校に郷土史クラブの設置・活動を促し、支援を行うため、大村市の歴史・人物について一定のテーマを設けて調査・研究を行い、郷土の歴史を理解する。</p> <p>学校ごとに地域の特色を生かした研究テーマを設定して調査研究活動を行い、学習成果発表会、史跡等の見学などを実施する。 参加校・人数：12校（小10、中3）、195人（小158、中37） 史跡見学ツアー1回（市内・長崎市） 2月 成果発表会</p>
		(2)文化財管理事業        【文化振興課】	<p>指定文化財の除草・清掃など維持管理を行い、文化財の適切な保護に努めた。</p> <p>大村市の歴史の証しである貴重な文化財を保護し、後世へ継承するため、大村純忠史跡公園などの指定文化財地の除草・清掃などの維持管理を行う。</p> <p>文化財の保護を図るため、文化財審議会を開催して指導・助言を得る。</p> <p>指定文化財の管理者に、維持管理に関する経費の補助を行う。 ・維持管理文化財数 18件 ・国・県・市指定文化財数 50件</p>
		(3)市内遺跡発掘調査事業        【文化振興課】	<p>開発に伴う遺跡照会に対応し、保護の調整、必要に応じて確認調査を実施し、遺跡を適切に保護することができた。</p> <p>昨年度から遺跡照会件数は大幅に増加している。大規模開発も依然増加傾向にある。</p> <p>遺跡該当照会件数 812件（うち遺跡該当264件） 遺跡該当中の開発件数230件（確認調査27件、慎重工事167件、立会調査27件） 確認調査27件分の調査面積600㎡（H29年度29件1,000㎡）</p>
		(4)三城城跡保存整備事業        【文化振興課】	<p>城の周知を図るとともに、周辺住民に遺跡を身近に感じてもらうため、三城城跡先行買収地の除草等を地元町内会に委託した。</p> <p>戦国時代の大村氏居城である三城城の跡地は歴史のまち大村にとって重要な史跡であり、その保存を図り歴史教育や観光資源として活用する。</p> <p>三城城跡の国指定を目指すとともに、開発公社で先行買収した曲輪Ⅱを城跡の保存整備の核に位置づける。</p> <p>買収した土地は、一年を通じた除草・清掃作業によって環境が保全されるとともに、周辺住民が活用することで、城跡に慣れ親しんでいる。</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	文化財の保護・活用・継承	(5)民俗芸能保存事業  【文化振興課】	<p>民俗芸能の保存継承のため、保存会へ補助金を交付した。 例祭での奉納やおおむら秋祭りほか各種行事へ出演するなど、活発な活動ができた。</p> <p>県指定文化財である黒丸踊、寿古踊、沖田踊及びその他の民俗芸能の保存のため、管理・修理・保存及び公開に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寿古踊保存会（保存継承活動）</li> <li>・沖田踊保存会（保存継承活動）</li> <li>・黒丸踊保存会（保存継承活動）</li> <li>・水主町コッコデショ保存会（用具整備）</li> <li>・大村獅子舞保存会（用具整備）</li> </ul>
		(6)旧楠本正隆屋敷管理運営事業  【文化振興課】	<p>旧楠本正隆屋敷の維持管理を行い、あわせて季節のイベントを行い集客を図った。</p> <p>旧楠本正隆屋敷の維持管理公開のため、屋敷管理、庭園管理、警備などを委託した。春は桜の時期にあわせ、大村家雛人形の展示と茶会などを合わせたイベントを行い、夏は花菖蒲に合わせて武者絵の展示などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入場者数 2,128人</li> </ul>
		(7)史料館管理運営事業  【文化振興課】	<p>大村に関する歴史資料を収集・保存するとともに、展示・資料閲覧などを通じて大村の歴史情報を発信した。</p> <p>大村の歴史の普及や研究のため、大村に関する歴史資料を寄贈、寄託、購入などの方法により体系的に収集し、これを保管・管理する。史料館で収集・整理した歴史資料を活用し、展示などを通じてその成果を情報発信する。</p> <p>平成30年度は仮事務所での業務のため、展示は行っていない。</p>
		(8)大村市歴史資料館(仮称)整備事業  【文化振興課】	<p>大村の歴史の継承・普及のため、県立市立一体型図書館との複合施設として、歴史資料館の整備を進めた。</p> <p>本体建物（ミライオン）が竣工した。 展示工事、展示制作委託に着手した。</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント									
			活動内容等									
文化の振興と生涯学習の充実	芸術・文化の振興	(1)文化活動振興事業	<p>文化協会関係団体、自主事業実施団体、県美術展へ補助金を交付したことによって、各団体は舞台発表や文化冊子の刊行を行った。</p> <p>また九州・全国大会へ参加する小中学校の文化クラブに対し、遠征費を助成したことで、子供たちが参加しやすくなった。</p>									
		【文化振興課】	<p>文化基金を活用し、文化協会や各種文化団体に対する補助を行う。また小中学校文化クラブが九州大会、全国大会に出場する時の遠征費に係る助成金を交付する。</p> <table border="0"> <tr> <td>・文化活動振興事業補助金</td> <td>9件</td> <td>650,000円</td> </tr> <tr> <td>・県美術展補助金</td> <td>1件</td> <td>72,000円</td> </tr> <tr> <td>・文化活動遠征費補助金</td> <td>6件</td> <td>1,282,568円</td> </tr> </table>	・文化活動振興事業補助金	9件	650,000円	・県美術展補助金	1件	72,000円	・文化活動遠征費補助金	6件	1,282,568円
		・文化活動振興事業補助金	9件	650,000円								
		・県美術展補助金	1件	72,000円								
		・文化活動遠征費補助金	6件	1,282,568円								
		(2)市民ギャラリー運営費補助金	<p>運営協議会へ運営費を補助することによって、市民が一年を通じて様々な文化芸術作品を発表、鑑賞できる場として安定的な活動がなされた。</p>									
【文化振興課】	<p>文化協会・美術協会・中央商店街・観光コンベンション協会等が「まちかど市民ギャラリー運営協議会」を立ち上げ、協議会会則・使用規定に基づき運営管理を行っている。</p> <p>運営協議会はギャラリー内に事務所を置き、利用者の展示受付・企画・広報等の業務を行っており、この運営協議会に対し補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示日数 336日</li> <li>・入場者数 19,811人</li> </ul>											
(3)子ども芸術文化活動事業	<p>子どもたちが生の芸術文化に触れることにより、音楽の楽しさを感じ、芸術文化のすばらしさを知ることができた。</p>											
【文化振興課】	<p>生のオーケストラを聴く機会を設けるため、長崎OMURA室内合奏団のスクールコンサートを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校5年生対象 参加児童数 1,000人</li> </ul>											
(4)音楽があふれるまちづくり事業	<p>市内の様々な地域、様々な世代が音楽に親しむ機会を設けることができた。</p>											
【文化振興課】	<p>長崎OMURA室内合奏団に委託し、まちかどコンサート、市民参加型音楽イベント、オーケストラコンサートなどを行った。</p>											
(5)心と郷土愛を育むミュージカル鑑賞事業	<p>郷土に関連するテーマで、子どもたちに楽しめるミュージカルを鑑賞させ、優れた芸術文化に触れるとともに、郷土理解と芸術文化の感性を育むことができた。</p>											
【文化振興課】	<p>明治150年を記念し、幕末維新时期に戊辰戦争で活躍し、大村市と仙北市との交流の基となった浜田謹吾を題材としたミュージカルを中学生向けと一般向けに公演を行った。</p> <p>鑑賞生徒数 2,600人</p>											
(6)体育文化センター設備改修事業	<p>体育文化センターの設備改修を行い、良好な利用ができる環境を整えることができた。</p>											
【文化振興課】	<p>築20年を経過する体育文化センターの改修を計画的に行っており、今年度はさくらホール照明設備について改修工事を行った。</p>											

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント												
			活動内容等												
文化の振興と生涯学習の充実	生涯学習の充実	(1)成人式開催事業	<p>新成人者及び次期成人者からなる企画運営委員会が式典の企画・運営をおこなう等、式典に参画することにより、成人としての責任を自覚することができた。</p> <p>開催日 平成31年1月13日(日)                      場所 大村市体育文化センター(シーハットおおむら)                      対象者 959人(男性486人、女性473人)                      参加者 841人(男性436人、女性405人)                      参加率 87.7%(男性89.7%、女性85.6%)</p> <p>※県立市立一体型図書館の建設に伴い、市民会館が閉館となり、平成28年度から会場を大村市体育文化センター(シーハットおおむら)へ変更して実施した。</p> <p>【社会教育課】</p>												
		(2)公民館管理運営事業	<p>地区住民や自主学習グループに、公民館での学習の機会と場の提供を行うことにより、生涯学習拠点施設としての利用促進を図ることができた。</p> <p>会議室等の貸出業務。施設設備の維持管理。                      公民館運営審議会を開催(年2回)</p> <p>利用状況</p> <table border="1"> <tr> <td>・中央</td> <td>5,892件</td> <td>130,732人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中地区</td> <td>2,096件</td> <td>32,213人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・郡地区</td> <td>3,102件</td> <td>45,539人</td> <td>合計 208,484人</td> </tr> </table> <p>【社会教育課】</p>	・中央	5,892件	130,732人		・中地区	2,096件	32,213人		・郡地区	3,102件	45,539人	合計 208,484人
		・中央	5,892件	130,732人											
		・中地区	2,096件	32,213人											
		・郡地区	3,102件	45,539人	合計 208,484人										
(3)公民館講座開催事業	<p>地域ニーズや地域課題に応じた講座を企画実施し、多くの市民に学習の機会を効果的に提供することができた。</p> <p>主催事業の企画実施(中央・中地区・郡地区公民館)</p> <table border="1"> <tr> <td>・中央</td> <td>36講座</td> <td>延べ3,614人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中地区</td> <td>14講座</td> <td>延べ1,336人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・郡地区</td> <td>16講座</td> <td>延べ1,287人</td> <td>合計 6,237人</td> </tr> </table> <p>【社会教育課】</p>	・中央	36講座	延べ3,614人		・中地区	14講座	延べ1,336人		・郡地区	16講座	延べ1,287人	合計 6,237人		
・中央	36講座	延べ3,614人													
・中地区	14講座	延べ1,336人													
・郡地区	16講座	延べ1,287人	合計 6,237人												
(4)西大村地区公民館管理運営事業	<p>地域住民のふれあいとコミュニティ活動の推進を図る生涯学習施設として有効に活用されており、地域活性化のために寄与している。</p> <p>指定管理者による管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室の貸出し・定例利用グループによる文化祭の実施</li> <li>・利用グループ活動の紹介広報誌の作成</li> </ul> <p>利用状況 1,358件 10,667人</p> <p>【社会教育課】</p>														
(5)子ども科学館運営管理事業	<p>児童の健全な育成に寄与するため、科学に関する様々な教室や科学館まつりを開催し、科学に関する知識の普及及び啓発を図った。</p> <p>教室参加者 開催107日 延べ963人                      (押し花・折り紙・工作教室など)</p> <p>子ども科学館まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成30年8月19日(日)</li> <li>・場所 大村市中央公民館(コミュニティセンター)</li> <li>・参加者数 1,450人</li> </ul> <p>※県立市立一体型図書館の建設に伴い、子ども科学館を閉館したため、平成28年4月から中地区公民館を主会場として実施中。平成31年4月1日に中心市街地複合ビル(プラットおおむら)5階にリニューアルオープン。</p> <p>【社会教育課】</p>														

【基本目標1】 人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	生涯学習の充実	(6)視聴覚ライブラリー管理運営事業	視聴覚機材、教材の整備充実を行い利用を促進し、社会教育・学校教育等の振興を図ることができた。
		【社会教育課】	視聴覚教材及び機材の貸出し及び整備 ・利用本数 139本、利用者数 6,380人 ・ライブラリーだより発行（毎月）
		(7)地区住民センター活動支援事業	住民センター主催講座の開催や住民センターだよりを発行し、地域住民に対し学習機会の提供と情報発信を行った。また、図書の貸出し、整理を行い、図書館機能の増進を図った。
		【社会教育課】	利用実績 ・三浦地区 延べ利用者数 10,653人 ・鈴田地区 延べ利用者数 8,524人 ・萱瀬地区 延べ利用者数 9,645人 ・竹松地区 延べ利用者数 10,103人 ・福重地区 延べ利用者数 4,748人 ・松原地区 延べ利用者数 7,492人 他に、各地区 毎月1回 住民センターだよりを発行
		(8)生涯学習推進事業	生涯学習に関する講演会を開催する。
【社会教育課】	平成30年度は講演会実施なし。		
(9)新中地区公民館(仮称)建設事業	中地区公民館の老朽化にともない、中地区公民館、西大村出張所、中地区ふれあい館を合築した建替えを行う。		
【社会教育課】	・平成30年8月末、実施設計完了。 設計業務委託費 36,595,800円 ・平成31年1月に工事に着手し、令和2年3月末の竣工を目指して工事を進めている。 工事監理業務委託 5,670千円(H30前金払分) 建築工事 258,000千円(H30前金払分) 設備工事 63,797千円(H30前金払分) 電気工事 53,464千円(H30前金払分)		

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	青少年の健全育成	(1)健全育成協議会支援事業	<p>市内の青少年関係団体並びに機関の緊密な連携のもと、青少年の健全育成を図っている。</p> <p>さらに、自転車の2人乗りや並列走行などが多いので、自転車のマナーアップ運動の推進を図っている。</p> <p>ココロねっこ運動を推進し、広報活動等を通じて大人の意識を変え、地域の子どもたちを地域で見守ることができるように地区健全協活動の支援を行う。</p> <p>「ココロねっこパレードINおおむら」は、5年目を迎え毎年11月に実施し、参加者も年々増えており、啓発活動を実施することができた。</p> <p>また、自転車マナーアップ運動は、天候に恵まれ、春と秋に実施できた。</p> <p>H30実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非行事故防止キャラバン 350人参加</li> <li>・健全育成研究大会 170人参加</li> <li>・ココロねっこパレードINおおむら 280人参加</li> <li>・自転車マナーアップ 延べ 469人参加</li> <li>・その他、「ながさきファミリープログラム」を活用した研修会やメディア安全指導講習会などを実施</li> </ul> <p>【社会教育課】</p>
		(2)子ども会育成事業	<p>子ども会加入者の減少は全国的な課題であるが、当市本市も加入者減少に歯止めはかけられない。ただ、子ども会活動は子どもを家庭、学校、地域で育てていくためにはたいへん重要な役割を担っている。各種団体と連携を図り、活動を進めていく必要がある。</p> <p>子ども会の活動を助長し、地域との連携を図りながら子ども会活動への助成を行う。</p> <p>【加入団体数 74単子】</p> <p>H30実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水 Rocket・子ども大会 336人</li> <li>・子ども会研修会 53人</li> <li>・子ども会発表会 125人</li> <li>・壁画コンクール 72人</li> </ul> <p>【社会教育課】</p>
		(3)巡回補導事業<再掲>	<p>P 6 政策・子育てしやすいまちづくり — 施策・子育てを支える機環境の充実、に記載。</p> <p>【社会教育課】</p>
		(4)少年センター管理運営事業	<p>相談窓口の多様化により相談件数自体は増えないが、様々な悩みに対し適切な指導ができた。施設の老朽化により修繕箇所が多くなってきている。</p> <p>・電話や来所での青少年の悩みに対し、適切な指導助言を行い解決へ導く。</p> <p>・有害環境の浄化のため、白ポスト（有害図書等）の回収や立入調査を伴う社会環境実態調査を実施した。</p> <p>・施設の維持管理を行い少年センターを運営する。</p> <p>H30実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 33件</li> <li>・調査件数 117件</li> </ul> <p>【社会教育課】</p>



【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	図書館の充実と整備	(1)図書館管理運営事業  【社会教育課・図書館】	<p>図書館仮事務所において、図書の貸出や新聞・雑誌等の閲覧など図書サービスの提供を継続し、図書館休館による市民の読書活動への影響を軽減するよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人貸出冊数 335,208冊</li> <li>・団体貸出冊数 14,052冊</li> <li>・定例行事 3行事 参加者数のべ1,349人</li> <li>・企画行事 2行事 参加者数のべ 45人</li> </ul>
		(2)図書等整備事業  【社会教育課・図書館】	<p>ミライオン図書館グランドオープンに向け、前年度を上回る図書購入冊数を達成した。また、図書のラベル貼り替えやICタグ貼付等、図書資料の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入図書冊数 26,391冊</li> <li>・購入雑誌タイトル数 72誌</li> </ul>
		(3)新「大村市立図書館」建設事業  【社会教育課・新図書館整備室】	<p>現在の老朽化・狭あい化した市立図書館を県立図書館との合築により整備し、市民の図書館利用を促進する。</p> <p>平成28年9月に「長崎県立・大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館」（仮称）建築主体工事に関する委託工事契約を県と締結し、平成29年3月から建設工事に着手した。建物等は平成31年1月に竣工し、10月5日の開館に向け、道路上の案内標識の設置工事を進めている。</p>
		(4)新「大村市立図書館」準備事業  【社会教育課・図書館】	<p>図書館・史料館仮事務所の適切な維持管理を行いながら、オーテピア高知等への実務研修の実施した。</p> <p>実務研修 鳥取県立（課題解決支援） 3人 H30.10～11月 オーテピア高知 2人 H31.1～2月</p>
		(5)新「大村市立図書館」情報システム整備事業  【社会教育課・新図書館整備室】	<p>県市が連携して図書館サービスを提供するために、それぞれの図書館情報システムを統合し、ミライオン図書館に新図書館情報システムを構築する。</p> <p>ミライオン図書館に新図書館情報システムを構築し、併せて長崎市に整備する県立図書館郷土資料センターと郡地区公民館図書館とをネットワークでつなぎ、新システムでの運用を行うことができるよう整備を行った。 ICタグを活用した貸出・返却など新たな機能を導入し、図書館業務全般の円滑な運用に資する。</p>
		(6)ミライオン施設等維持管理事業  【社会教育課・図書館】	<p>平成31年1月末に竣工し、引き渡されたミライオン複合施設（県立・市立図書館、市歴史資料館）の施設・設備等の維持管理を一元的に実施した。</p> <p>施設の警備（機械警備含む。）のほか電気、消防、空調、環境等に関する各種法定点検業務などの契約又は契約準備</p>



